

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	コード	作成者	役職	まち整備課長
		04-05-17	氏名	平田惣己治	
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	2.0	時間

この施策の アピール ポイント	大雨による洪水・土砂災害から市民の生命・財産を守る。
-----------------------	----------------------------

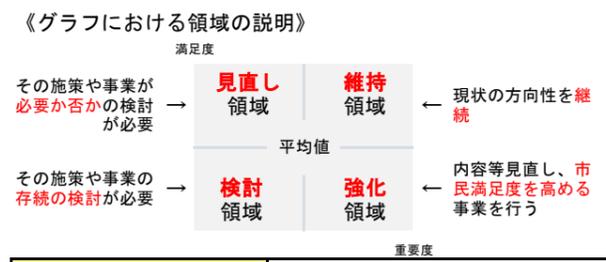
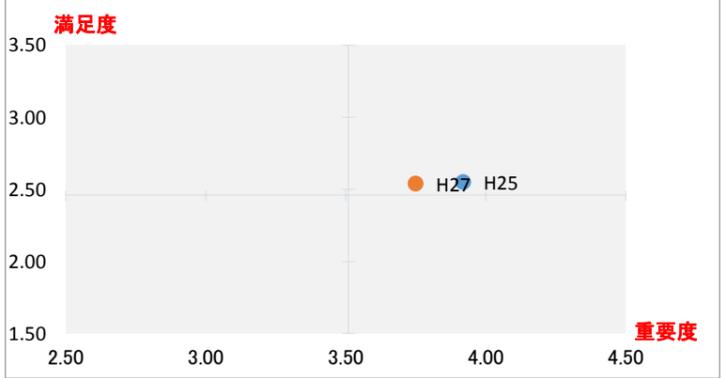
この施策の 平成26年度の 施政方針	-
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想(大項目)	土台となる政策「安全・安心」
	基本計画(中項目)	安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の生命・財産を、洪水・土砂災害から守る。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮により大災害を受けたが、国・県・市及び地域住民が一体となって災害復旧と防止事業に取り組み、一定の成果をあげることが出来た。しかし、まだ多くの河川で未整備箇所があることから、今後、国・県の協力を得て、計画的な河川整備を図り、再び災害を受けることのないよう万全の対策をとることが必要である。また、急傾斜地や土石流危険渓流のうち、法の未指定地については新たに区域指定を受け、整備していく必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ円滑な施設整備 急傾斜地等の整備促進 内水排除の事業化 景観への配慮 国・県への要望強化 災害等緊急時における関係機関との連携強化 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度(%)		3.92	3.75
満足度(%)		2.55	2.54



調査結果に対するコメント、市民の反応等	災害対策に直結することから、要望が多く重要度も高いといえるが、未整備箇所・要望箇所の多さに対して整備が追いついていない状況が調査結果に顕れているものと思える
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H25	H26	H27				
成果指標 河川改良箇所	目標	箇所	8.0	9.0	9.0	年度ごとの改良箇所数	H28	9
	実績	箇所	6.0	10.0	7.0		H29	9
	達成率	%	75.0	111.1	77.8		H34	10
	ベンチマーク						-	-
参考指標① 市民からの要望への対応	目標	%	70.0	70.0	70.0	改良・修繕箇所数/要望箇所数	H28	75
	実績	%	68.0	71.0	34.0		H29	75
	達成率	%	97.1	101.4	48.6		H34	85
	ベンチマーク						-	-
参考指標② 河川清掃ボランティア参加団体数	目標	団体	20.0	20.0	20.0	参加団体数	H28	20
	実績	団体	15.0	16.0	15.0		H29	20
	達成率	%	75.0	80.0	75.0		H34	30
	ベンチマーク						-	-
参考指標③	目標							
	実績							
	達成率	%						
	ベンチマーク							

⑦ 目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効率的整備と効果の早期発現が期待できコストも縮減できる

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由(なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4		河川改良箇所は、災害防止のため整備を進めて行くうえで直接成果を表す指標。修繕要望に対する実施率及びボランティア参加団体数は維持管理上の指標として妥当。
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	4		防災機能の向上及び被災したものの復旧など河川機能の改良と維持には掲載の各事業の他に手段はなく最適。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3		不確定な要因が多く目標達成は厳しいが、着実に整備を進めている。
進行年度(H28年度)の取組内容 (課題解決状況)			継続中の改修工事を優先的に進めていく。県管理河川についても改修要望と調整を十分に行い早期完成を目指す。また溢水、破堤など危険箇所の局所改修を優先的に実施するとともに、土砂堆積の著しい河川について浚渫を実施できるよう浚渫土の処分場所確保の調整を進めていく。
翌年度(H29年度)の取組目標			引き続き継続中の改修工事を進めていくとともに、県管理河川についても早期完成を目指し強力に要望していく。ボランティアや地元関係者と連携し、現状の把握や適切な維持修繕に努める。また浚渫土の処分場所の建設に着手できるよう準備を進めていく。
二次評価者コメント			防災面からの計画的且つ継続的な施設改修を促進するとともに、継続事業としての香登川の早期整備、地区要望の多い河川浚渫工事実施の要件整備を進めて下さい。施設管理におけるボランティア団体の参加については、経費の削減と住民意識向上の点でもメリットが多く、今後も全市の協力を得られるように努めてください。
役職	まちづくり部長		基本施策への 貢献度 4 やや高い
氏名	中島 和久		

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成27年度事業)

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 合 先	担当課(室)	まち整備課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち		職・氏名	係長 藤森勝一
	小項目 施策	17	河川改修・砂防施設整備		電 話	0869-64-1833
事務事業名		01	県河川維持管理事業	このシート作成に要した時間		2.5 時間

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	県管理河川地域に係る住民	
目 的 (何のために)	県管理の樋門等の管理を委託し住民の安全を図る	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	適切に管理することで災害発生時等の被害を最小限にしたい。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名			
	樋門等管理委託事業	県施設の樋門の管理		◎
	吉井川下流改修促進協会の負担金	河川管理協市町村負担金		▲
	ダム市町村全協協議会の負担金	ダム管理市町村負担金		▲
	河川維持管理要望事務	河川管理の要望		○

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	414	412	406
	必要人員	人	0.04人	0.01人	0.02人
	事業費	千円	785	491	598
	国 県 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円			
財 源	千円				
市 債	千円				
その他()	千円				
一 般 財 源	千円	785	491	598	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
樋門等設置箇所	説明				
結 果 指 標 量			17	17	17
対 前 年 比	%		-	100.0%	100.0%
活 動 コ ス ト	円		785,000	491,000	598,000
単 位 当 た り コ ス ト	円		46,176	28,882	35,176

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
苦情処理件数	成果指標名	目標値(A)	0	0	0	0
		実績値(B)	0	0	0	到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0
成果指標設定の考え方・式や説明						
苦情連絡件数(B)/苦情連絡対応処理件数(A)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	市民ニーズ			C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている		C
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		C

進行年度 (H28年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明			○						
説明		樋門の一部において老朽化が激しい。操作性及び機能維持のため補修を県に要望する。							

総合評価		総合評価
地域住民が安心して生活するために樋門の管理は必要であり、今後も引き続き地元市が管理していかなければならない。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い
		C

平成29年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標			○						
取組目標		次年度以降も引き続き要望していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

備前市事業事業評価シート

事業の概要			根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成14年度～		担当課(室)	まち整備課
総合計画	大項目 基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	職・氏名	管理係長 藤森勝一
	中項目 基本計画	05 安全に暮らせるまち	電話	0869-64-1833
小項目 施策	17	河川改修・砂防施設整備	このシート作成に要した時間 2.0 時間	
事務事業名			04 急傾斜地崩壊対策事業	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	急傾斜地崩壊危険区域に係る住民
目的(何のために)	住民の生命、財産を守るため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	急傾斜地崩壊危険区域の整備を県に要望していく。

事業の実績			優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	
	急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金	県工事負担金	▲
	急傾斜地崩壊対策要望事務	県工事要望	▲

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	897
	必要人員	人	0.07人	0.04人	0.02人
	事業費	千円	644	372	1,069
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	千円				
一般財源	千円				
受益者負担比率	%				

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	急傾斜区域指定・整備箇所	箇所	0	0	0
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	640	372	1,069
	単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成27年度事業)

事業の成果	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)	0	0	0	1
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1
成果指標設定の考え方・式や説明					
整備完了箇所(B) / 危険指定箇所(A)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー
有効性の評価	目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている 市民参画度 <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー	

事業の目的やその数値目標に留意しな

進行年度(H28年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	県に急傾斜地崩壊対策事業の要望を行っている。土砂災害防止法に関しては、県による基礎調査の実施が進んでいる。					

総合評価	
危険区域指定地のほとんどが整備されているが、近年の異常気象により局地的な災害が発生しており、未指定地については区域指定を受けて整備する必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー

平成29年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	採択基準も厳しくなっているが次年度以降も引き続き行う必要がある。					

Action

備前市事業事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成23年度～	根拠法令・例規等	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	05	安全に暮らせるまち	
	小項目	施策	17	河川改修・砂防施設整備	
事務事業名		05	災害復旧事業	職・氏名	土木係長 岡村 悟
				電話	0869-64-1835
				このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	市が管理している施設で災害により被災した河川・道路	
目的(何のために)	台風等の大雨により被災した箇所の早期復旧を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	災害箇所の早期復旧を図る。	

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	災害復旧事業	台風等により被災した河川や道路を原形復旧を基本として災害復旧を行なう。	◎

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	10,715	2,044	45,018
	必要人員	人	0.24人	1.836	0.62人
費用	事業費	千円	12,551	3,867	49,754
	国県支出金	千円	1,534	2,057	9,932
	受益者負担				
	繰入金				
	市債			600	4,800
その他()					
一般財源			11,017	1,210	35,022
受益者負担比率	%		-	-	-

結果指標		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	結果指標	量	35	1	76
	対前年比	%			
	活動コスト	円	12,551,000	3,867,000	49,754,000
	単位当たりコスト	円	358,600	3,867,000	654,658

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成27年度事業)

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)	100	100	100	100	
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値	
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
当該年度復旧箇所数/災害箇所数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A
	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的、成果指標、その数値目標に留意しな

進行年度(H28年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○						
説明		27年度は76件の公共災害が発生したが、当該年度で完了した。今年度も災害が発生したら早期復旧に努める。							

総合評価		総合評価 B
被災時は協議を含めて早期復旧に努める。		

平成29年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○						
取組目標		災害が起きたときに早急に対応ができるように準備を整えておく必要がある。							

Action